

社会福祉法人恩賜財団済生会支部

北海道済生会(小樽市)



提供されたたくさんの食品等



北海道済生会担当者の皆さん

◇【団体発足の経緯】

- ◆ 小樽は全国的に見ても高齢化率が高く、勾配の激しい土地柄、交通移動困難者が多い。
- ◆ 済生会は、市民が健康で生涯生き生きと活躍できる「まちづくり」が必要と考え、「ウェルネスタウン」構想を立ち上げた。近隣の商業施設であるウイングベイ小樽と連携し、様々な事業を展開しているおり、フードバンク事業もその一つである。

◇【活動の概要】

- ◆ 寄付された食品等を、種類別、賞味期限ごとに仕分け、地域包括支援事業所等を通じて必要な人に提供している。

【組織の概要】

- 団体名: 社会福祉法人北海道済生会
- 所在地: 小樽市
- 代表者: 支部長 近藤 真章
- 活動人数: 4名
- 活動開始時期: 2021年
- HP: <https://hokkaidosaiseikai.amebaownd.com/>
- 北海道フードバンクネットワーク加盟有
- 取扱品: 加工食品、地域の農産物、防災食など
- 提供の条件: 原則賞味期限が2週間以上ある未開封の物

【取組む際に生じた課題と対応方法】

- ◆ 食品の仕分けや管理を行う人材が足りない。
→ 法人内にある就労支援事業所に委託することで、人手不足の解消となり、それに加え、雇用創出の一助にもなっている。
- ◆ 寄付された食品の適切な受渡し先がわからない。
→ トラブル防止の観点から、支援が必要な人と直接繋がりがあがる地域の包括支援事業者に委託し食品の受渡し先を選択してもらっている。

北海道済生会の食品取扱いのフロー図



【今後の展望】

- 「ウェルネスタウン」構想の実施により、異業種とのコミュニティができ、仕事の幅が広がった。フードバンクに留まらず、より幅広い包括的ケアの実践に取り組みたい。
- 専用トークン(専用硬貨)を使用していつでも食品の受取ができる専用自動販売機の設置を進めており、今後は市内複数箇所への設置を検討している。設置台数を増やして体制を整えていきたい。